

# 春山校区まちづくり推進計画

第2期(令和4年度～8年度)

人と自然と活力と  
調和のとれた  
結のまち 春山



上山岡から望む春山台地

## 春山校区まちづくり協議会

所在地 〒899-2704 鹿児島市春山町1020-2

TEL・FAX : (099) 278-5866

E-mail haru.machi.kyou@gmail.com

## 目 次

1	第2期 春山校区まちづくり推進計画策定にあたって	1
2	校区の概要	2
(1)	校区の人口の推移	2
(2)	校区の世帯数の推移	2
(3)	年代別人口の変化	3
(4)	春山小学校児童数の推移	3
(5)	組織町内会等位置マップ	4
3	校区の現状と課題	5
(1)	住民アンケート調査で見た校区の現状	5
(2)	各部会の課題	6
4	まちづくりスローガン（目標）と運営方針	8
5	組織体系図	9
6	活動体系図	10
7	校区まちづくり推進計画	11
	<参考資料>	17
○	住民アンケート調査結果(抜粋)	18
○	第1期 校区まちづくり推進計画事業の概要	19
○	第2期 校区まちづくり推進計画策定員会委員名簿	21

## 1 第2期 春山校区まちづくり推進計画策定にあたって

私たち春山校区まちづくり協議会は、鹿児島市のまちづくり指針として定められた「第五次鹿児島市総合計画」の基本目標である「市民と行政が拓く 協働と連携のまち」づくりの実現に向けた、小学校区における「地域コミュニティ協議会」の設立推進のもとに、平成27年6月に「春山校区まちづくり協議会」を設立いたしました。

そして、下記に掲げる協議会の目的及び事業推進活動に向けた「推進計画策定のねらい」による、「第1期まちづくり推進計画（平成29年度～令和3年度）」を策定し、安心安全で活力ある快適な住みやすい地域づくりを目指して、各種団体が連携して取り組んできました。

この度、第1期の推進計画が令和3年度で終了しますことを踏まえ、新たな令和4年度から令和8年度までの「第2期まちづくり推進計画」をこれまでの活動の取組みを振り返った住民みなさまへのアンケート等による評価(成果・課題)等の実態を基に策定いたしました。

つきましては、目標達成に向けた活動を構成団体が一体となって力を合わせ取り組んで参ります。実効性のある推進計画となりますよう、校区住民みなさまのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

### (1) まちづくり協議会活動の目的

まちづくり協議会は、春山小学校区における身近な課題の解決や地域資源を生かした活動など、地域主体のまちづくりに取り組み、連帯感と活力に満ち溢れた地域社会づくりに資すること。

### (2) 目的を達成するための事業

- ア 防災、防犯、交通安全等に関すること
- イ 福祉、健康づくりに関すること
- ウ 成人学級など生涯学習に関すること
- エ 歴史、文化、伝統継承等に関すること
- オ 地域住民の交流または連帯に関すること
- カ 環境美化、環境保全等に関すること
- キ 校区内の団体育成に関すること
- ク 地域コミュニティプランの策定（校区まちづくり推進計画の策定）に関すること
- ケ その他地域づくりに関すること

### (3) 校区まちづくり推進計画策定のねらい

自分たちの住む地域をどんなまちにしていきたいか、地域住民の声を聞いて将来像を思い描き、地域の課題解決や地域資源の活用などに取り組んでいくための具体的な計画として策定し、その実現に向けて各種団体をはじめ住民が連携・協力した活力ある住みやすいまちづくりを目指すことを校区まちづくり推進計画策定のねらいとする。

## 2 校区の概要

(1) 校区の人口の推移（饅頭石自治会については一部の年度のデータである）

※数値は各年度4月1日現在

年度	総人口		内 訳							
			春山町		四元町		平田町		五ヶ別府町 (饅頭石自治会)	
平成17	4,675	増減	4,217	増減	391	増減	67	増減		増減
平成20	5,075	400	4,635	418	371	△20	69	2		
平成25	5,427	352	5,003	368	367	△4	57	△12		
平成28	5,698 (5,804)	271	5,310	307	335	△32	53	△4	(106)	
令和元	5,899	201	5,549	239	303	△32	47	△6		
令和3	6,092 (6,193)	193	5,755	206	298	△5	39	△8	(101)	△5

(2) 世帯数の推移（饅頭石自治会については一部の年度のデータである）

※数値は各年度4月1日現在

年度	総世帯数		内 訳							
			春山町		四元町		平田町		五ヶ別府町 (饅頭石自治会)	
平成17	1,615	増減	1,422	増減	152	増減	41	増減		増減
平成20	1,830	215	1,633	211	154	2	43	2		
平成25	2,046	216	1,842	209	168	14	36	△7		
平成28	2,200 (2,243)	154	1,999	157	167	△1	34	△2	(43)	
令和元	2,335	135	2,148	149	159	△8	28	△6		
令和3	2,445 (2,488)	110	2,253	105	165	6	27	△1	(43)	0

全体的には、春山町における団地と集合住宅等の増加によって、人口・世帯数ともに増加傾向にあって、現在(令和3年)は、人口約6,100名、2,445世帯（一世帯当たり4.9名）が居住している校区である。ただ、四元町は人口の減少傾向、平田町は人口・世帯数ともに減少傾向にある地域である。

※ 饅頭石自治会は、谷山地区の五ヶ別府町に属する地域で、校区は春山小学校区に指定された自治会である。

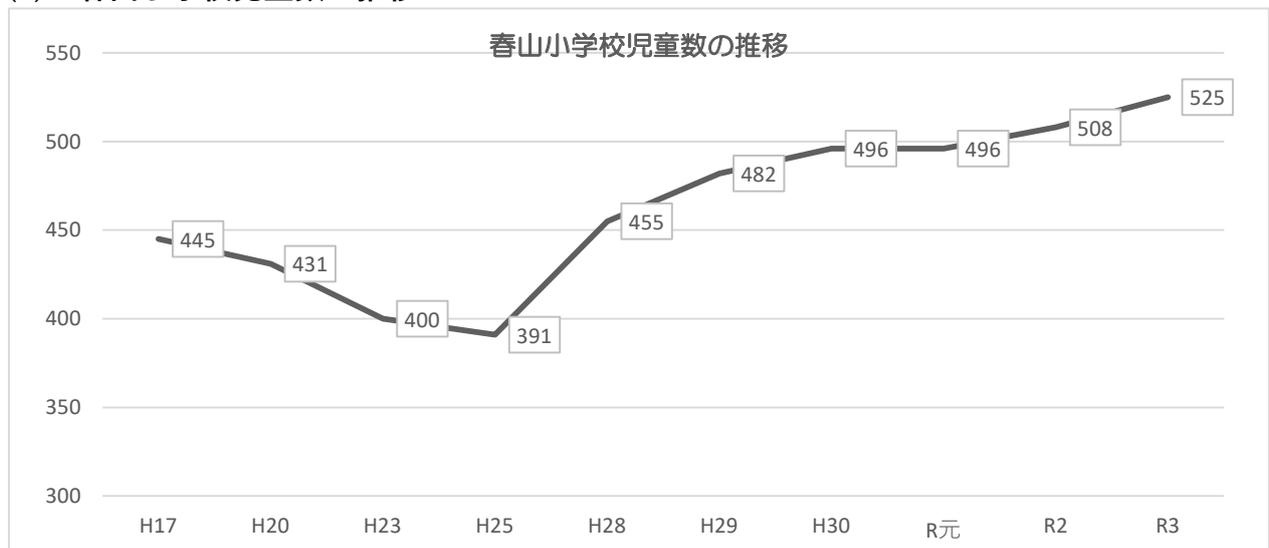
(3) 年代別人口の変化

※数値は各年度4月1日現在

区分	年度	青少年人口		生産人口			高齢者人口		
		(0~19歳)	割合	(20~64歳)		割合	(65歳以上)	割合	
総人口	平成17年	1,240	26%	2,692		58%	743	16%	
	平成20年	1,299	25%	2,924		58%	852	17%	
	平成25年	1,354	25%	3,124		58%	949	17%	
	平成28年	1,394	24%	3,250		57%	1,054	19%	
平成29年度以降の推移		(0~19歳)	割合	(20~39歳)	割合	(40~64歳)	割合	(65歳以上)	割合
総人口	平成29年	1,433	25%	1,337	23%	1,891	33%	1,117	19%
	令和 元年	1,442	25%	1,324	22%	1,966	33%	1,167	20%
	令和 3年	1,494	24%	1,322	22%	2,023	33%	1,253	21%
春山町	平成29年	1,401	26%	1,286	24%	1,785	33%	932	17%
	令和 元年	1,413	26%	1,290	23%	1,855	33%	991	18%
	令和 3年	1,467	25%	1,296	23%	1,921	33%	1,071	19%
四元町	平成29年	31	10%	49	15%	92	28%	152	47%
	令和 元年	25	8%	33	11%	96	32%	149	49%
	令和 3年	26	9%	25	8%	90	30%	157	53%
平田町	平成29年	1	2%	2	4%	14	28%	33	66%
	令和 元年	4	9%	1	2%	15	32%	27	57%
	令和 3年	1	3%	1	2%	12	31%	25	64%

年代別構成は、青少年人口(0~19歳)が、総人口の24%、生産年齢人口(20~64歳)が55%、高齢者人口(65歳以上)が21%で、総体的には、若年層の多い校区であるが、高齢者人口が増加傾向にあり、四元町と平田町は半数以上が高齢世帯となっている。

(4) 春山小学校児童数の推移



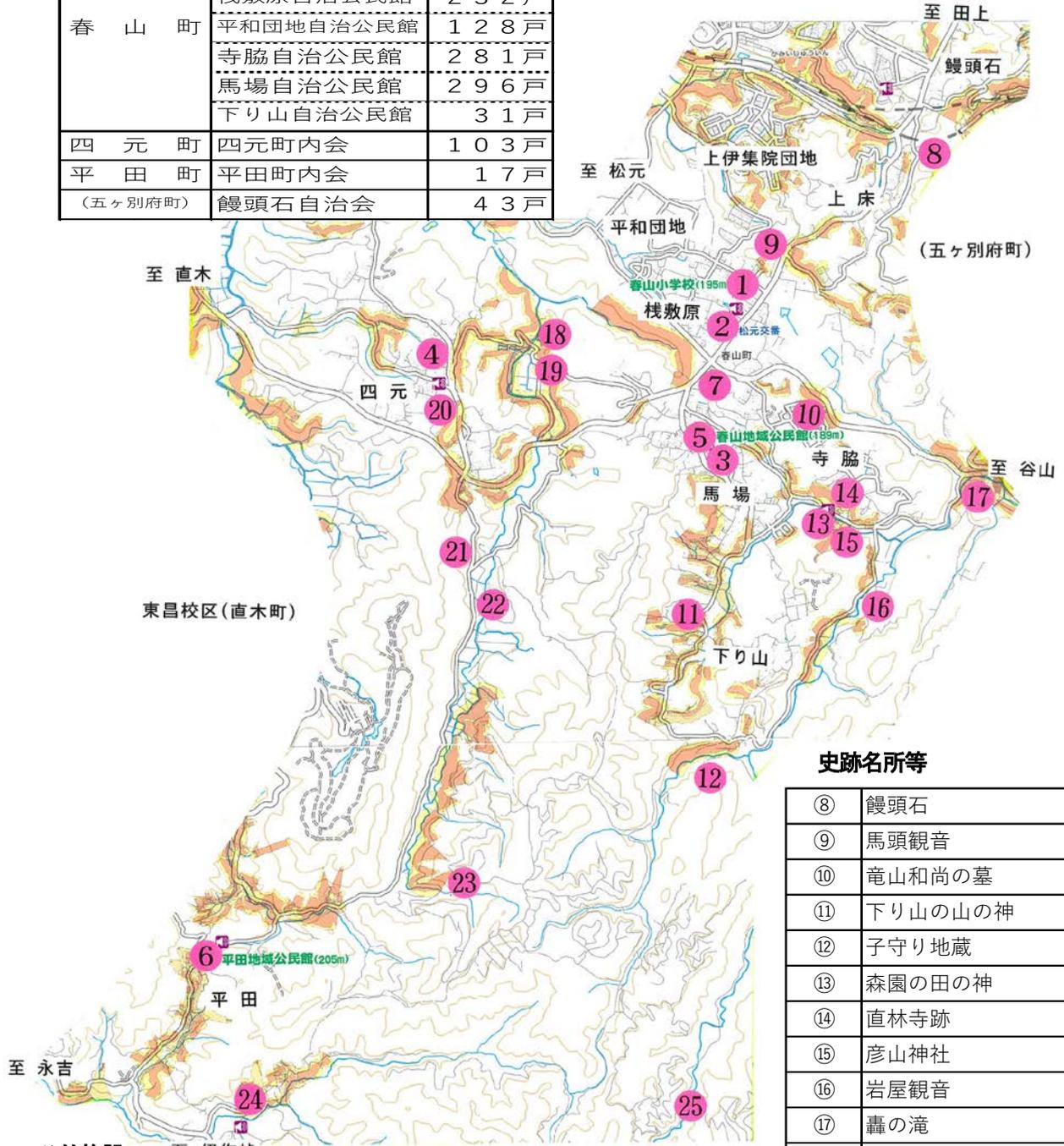
※ 若い世代の居住増により、ここ数年は増加傾向が推測される。

(5) 組織町内会等位置マップ(公的施設・史跡名所等)

組織町内会等・加入世帯数(令和3年4月1日現在)

町名	町内会等名	加入世帯数
春山町	上伊集院団地町内会	285戸
	上床自治公民館	154戸
	棧敷原自治公民館	232戸
	平和団地自治公民館	128戸
	寺脇自治公民館	281戸
	馬場自治公民館	296戸
	下り山自治公民館	31戸
四元町	四元町内会	103戸
平田町	平田町内会	17戸
(五ヶ別府町)	饅頭石自治会	43戸

下記地図は、「鹿児島市防災ガイドマップ」より抜粋  
 は土砂災害計画区域等



公的施設

教育	①	春山小学校
警察	②	鹿児島西警察署 松元交番
消防	③	春山分団消防車庫
	④	四元分団消防車庫
避難所	①	春山小学校
	⑤	春山地域公民館(兼:協議会事務局)
	⑥	平田地域公民館
市施設	⑦	市都市農村交流センター(お茶の里)

史跡名所等

⑧	饅頭石
⑨	馬頭観音
⑩	竜山和尚の墓
⑪	下り山の山の神
⑫	子守り地蔵
⑬	森園の田の神
⑭	直林寺跡
⑮	彦山神社
⑯	岩屋観音
⑰	轟の滝
⑱	四元の太鼓橋
⑲	地藏菩薩
⑳	二俣門の山の神
㉑	聖神社
㉒	四元の田の神
㉓	熊の小路茶団地
㉔	田ノ頭のめがね橋
㉕	永田川源流地

### 3 校区の現状と課題

#### (1) 住民アンケート調査で見た校区の現状

住民の生活環境は、「住みやすいと思う」という回答が82%である。また、部門別の評価・声においては、下記のような課題が見えた。

#### 暮らし

- ・共に支え合い相互扶助精神の希薄化
- ・車のない高齢者世帯の生活不便
- ・身近な医療、福祉施設の無
- ・ひとり暮らし等の高齢者の見守り
- ・町内会等への未加入者の増加傾向

#### 自然

- ・道路沿いの雑木林や竹林の荒廃
- ・自然林、人工林の荒廃
- ・道路や雑木林へのゴミの不法投棄
- ・田畑等での野焼き
- ・イノシシ、猿、タヌキ、アナグマの出没

#### 交通

- ・公共交通便の不便
- ・交通量増と通行車両の速度超過
- ・通学路等の歩道幅・白線
- ・上伊集院駅周辺、春山交差点の朝夕の混雑
- ・危険箇所での登下校時の見守り

#### 防犯・防災

- ・防犯灯のない夜間歩行(防犯灯設置)
- ・防犯に備えた防犯カメラの設置
- ・変質者、空き巣狙いの出没対応
- ・災害時の要援護者の見守り対応
- ・災害に備えた避難場所(少ない)

#### 社会教育

- ・生涯学習活動意識の希薄化
- ・趣味を生かした学習講座の未実施
- ・地域主体の子ども育成意識の低下
- ・地域活動への青少年参加の低下

#### 歴史・文化

- ・校区内の文化財、史跡の認知度
- ・文化財、史跡地の管理未徹底
- ・地域の文化財等保護意識の低下
- ・地域の伝統文化行事の継承

#### 社会体育

- ・スポーツ行事への参加意識の低下
- ・身近に活用できる運動施設の不足
- ・各種スポーツやふれあい交流スポーツ行事の未実施

#### 住民の望むまちづくり

- ・安心安全なまち
- ・高齢者、障がい者が暮らしやすいまち
- ・買い物便利なまち
- ・近所付き合いの温かいまち
- ・安心して子育てができるまち
- ・緑を豊かに守り育てるまち
- ・活気あふれるまち
- ・教育、文化、スポーツが充実したまち
- ・祭りや行事の盛んなまち

## (2) 各部会の課題

住民アンケート調査(住民の声)を踏まえた課題

### まちづくり部会

- ☆ 町内会等への未加入世帯の増加傾向とともに、隣近所同士が共に支え合う人間関係の希薄化が顕著であることに対する、住民の懸念解消と住民総参加のまちづくりのための対応が必要となっていること。
- ☆ 地域行事への興味・参加意識の低い住民が増加傾向にあること。
- ☆ 校区一斉清掃の効果は得ているが、地域内公園の清掃、道路にはみ出した雑木竹、ゴミの不法投棄への対応が求められていること。
- ☆ 協議会の存在・活動を知らない住民が多い。特に、行事開催において、協議会主催か、町内会等主催かでの戸惑いにより、行事参加者の有無につながっていることなどから、広報発信等の工夫が必要であること。

### 安心安全部会

- ☆ 子どもの通学路における危険箇所での見守り活動の充実。特に、これまで対応しなかった下校時間帯の見守りが必要であること。
- ☆ 暗くて安心して歩けない場所等への防犯灯や防犯カメラの設置等が望まれていること。
- ☆ 台風・土砂災害危険時の身近な避難場所の設置が望まれていること。
- ☆ 交通量が多い中における、車のスピード・騒音等に対する苦情が多いこと。
- ☆ イノシシ、猿、タヌキ、アナグマ、不審者出没への対応が求められていること。

### 福祉部会

- ☆ 公共交通機関の不便地である中で、高齢者・障がい者等が困窮している生活支援(食料品等の買い物、ゴミ出し等)に加え、昼間ひとり高齢者等の見守り活動が望まれていること。
- ☆ 高齢者の健康づくり「いこいの場」設置が望まれていること。
- ☆ 隣近所との付き合い意識の希薄解消を兼ねた、地域・住民同士の連携を深め合う、世代間のふれあい交流活動の開催が求められていること。
- ☆ 両親の共働き・ひとり親世帯の子どもの見守り支援等が求められていること。

### 青少年育成部会

- ☆ 子ども会の育成母体である「あいご会」は、「住民総ぐるみで心身ともに健全な子どもを育てる会」であることを知らない住民が多く、子ども育成活動への参加者が少なくなっていることへの対応が求められていること。
- ☆ 地域の伝統行事である十五夜や鬼火たき、六月灯等の開催が望まれていること。
- ☆ 住民とのふれあい交流を兼ねた、子どもたちの「生きる力」を育む体験活動の開催

が望まれていること。

- ☆ 小・中・高校生の地域活動への参加促進が求められていること。

### 体育部会

- ☆ 現在実施している地域住民の交流を深める各種スポーツ行事(運動会など)に、参加する住民を増やす対応が必要となってきたこと。
- ☆ 地域住民の健康づくりを目的とした「各種スポーツ教室」の開催や、趣味スポーツの「同好会・クラブ」設置が望まれていること。
- ☆ 子どもから高齢者まで、自由に参加できる気軽で楽しめる運動(催し)が求められていること。
- ☆ 住民が身近に活用できる運動施設の整備(設置)が求められていること。

### 社会教育部会

- ☆ 社会の変化に対応できる能力を更に高め養っていく、大事な生涯学習の一環として開設している「成人・女性学級」への参加者が減少傾向にあることから、その対応策が必要となっていること。
- ☆ 趣味を生かした生きがいづくり講座(ミニ盆栽、歴史、囲碁、書道、野菜作り、家でできる体操等)の開催が望まれていること。
- ☆ 地域の歴史である史跡などの文化財等を知らない住民が多いことへの対応が必要であること。
- ☆ 生涯学習活動への参加者が少ない要因としては、仕事と家事の都合に加え関心への低さなどが想定されることから、その対応策を講じる必要があること。



## 4 まちづくりスローガン(目標)と運営方針

### (1) スローガン(目標)

#### 「人と自然と活力と 調和のとれた 結のまち 春山」

春山校区は、鹿児島市街近郊の標高150mから200mの台地に、無数の丘陵と緑豊かな自然環境に恵まれた地域にあって、団地造成等による居住世帯の増加傾向から若年層の多い地域である反面、居住世帯の減少傾向により少子高齢化が進み、居住高齢者が半数以上を占める地域もあります。

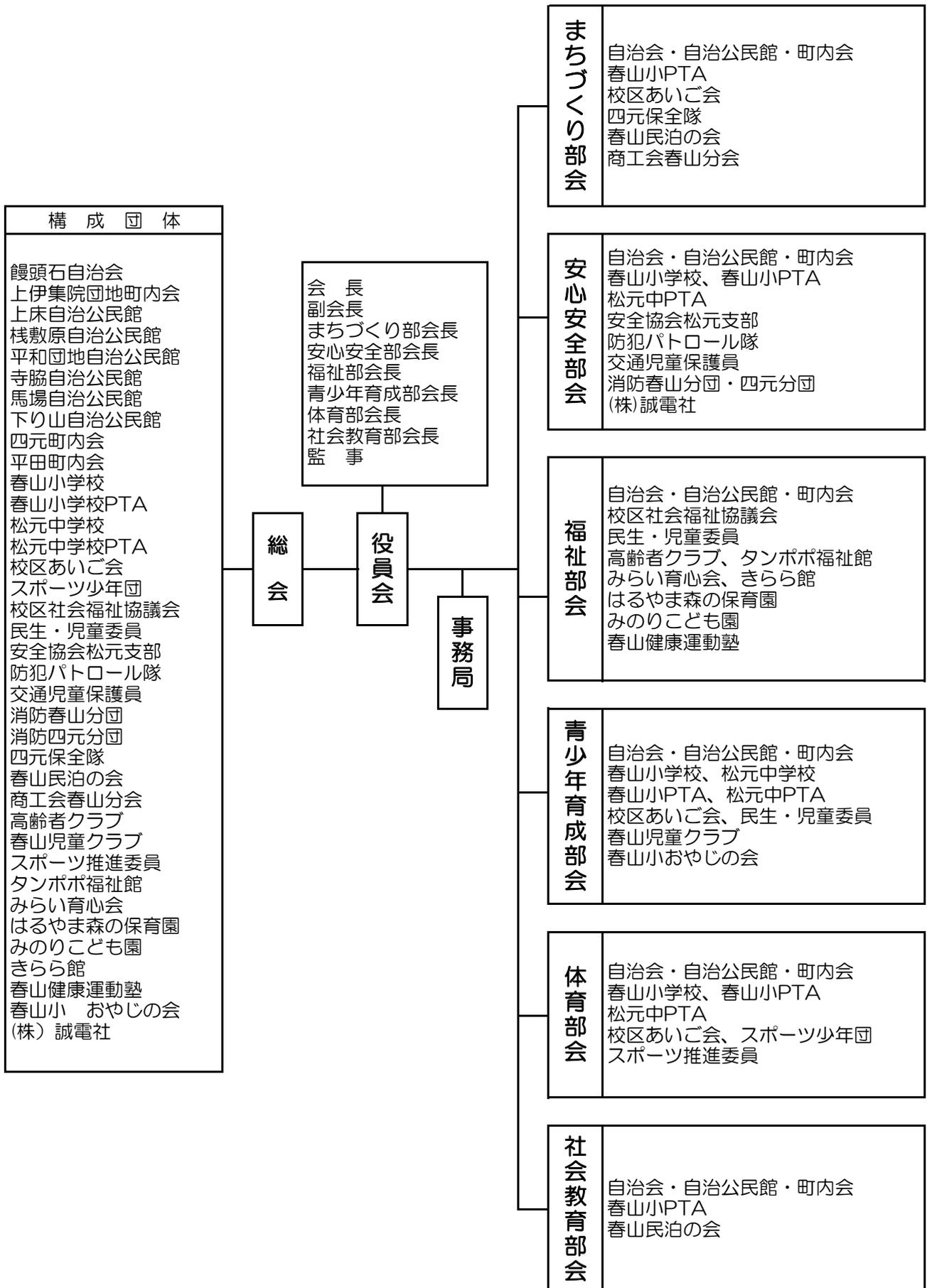
また、転入者世帯（若年層）が増加傾向にある中、住民同士のふれあい交流意識の弱まりと少子高齢化の進行による、共に支え合う地域づくりへの対応が求められています。

このことを踏まえ、自分たちの住む地域の「豊かな自然」と「地域間及び住民の連帯感」を大切にしたい、住民総参加の活力ある住みよい地域づくりと地域の将来像を思い描き、第1期(平成29年度～令和3年度)計画で取り組んできた活動の評価（住民アンケート調査による住民評価を含む）などを振り返った校区の現状と課題・住民意向を基に、協議会活動の目的である「連帯感と活力に満ち溢れた地域社会づくり」を目指す、向こう5年間（令和4年度～令和8年度）の「まちづくり推進計画」のスローガン（目標）を「人と自然と活力と 調和のとれた 結のまち 春山」と掲げ、各種団体が連携・協力して各種事業活動を推進します。

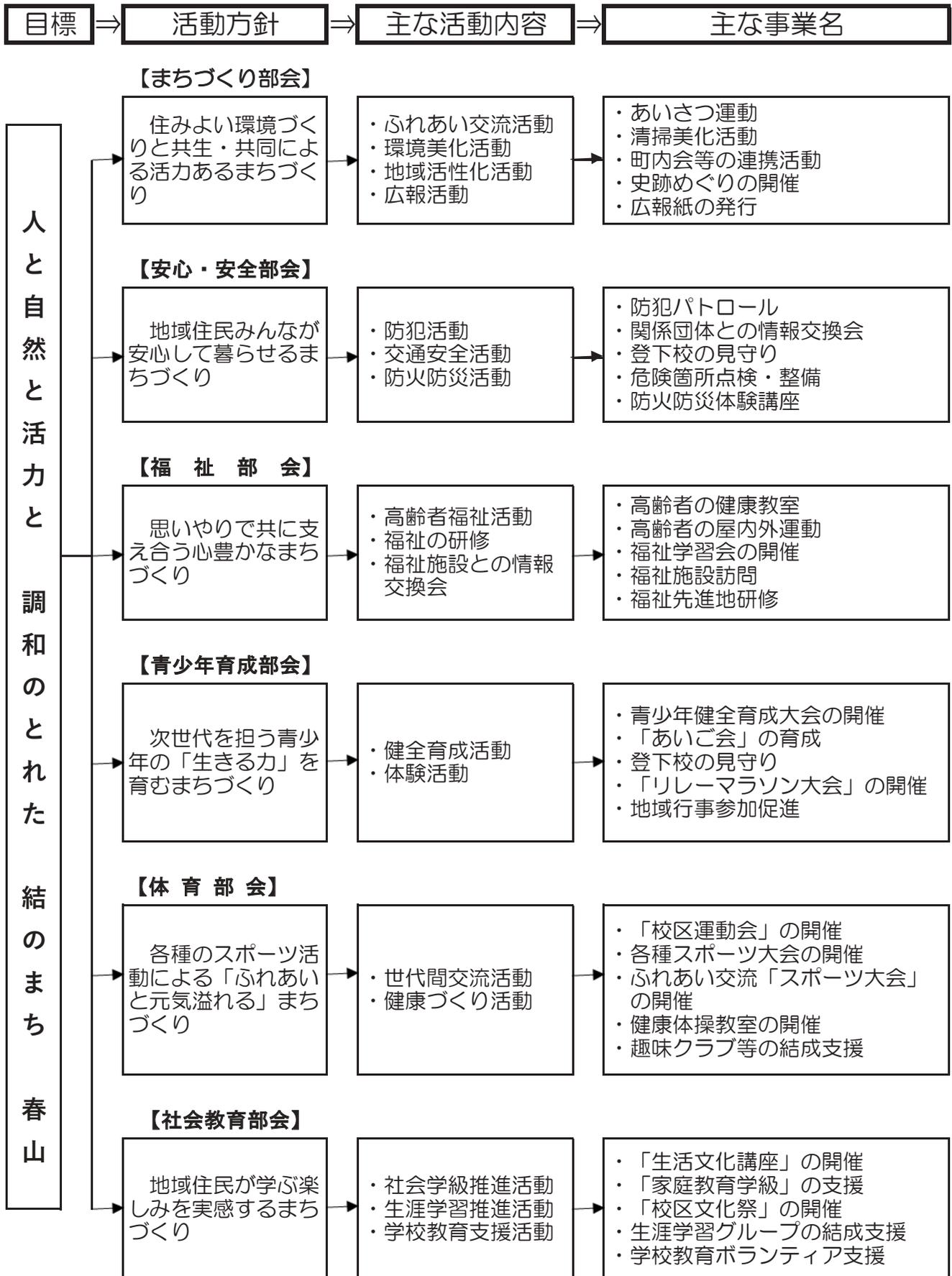
### (2) 運営方針

- ① 校区住民みんなが連帯感をもって各種活動に参加し、潤いと活力のあるまちづくりを推進する。
- ② 夢や希望をもち、安心して楽しく生活し続けることのできる、共に支え合う共生社会の実現を推進する。
- ③ みんなで創る地域づくりを基本に、各部会の主体的活動の充実を推進する。
- ④ 構成団体との連携・協力による、情報共有化と効率的な事業推進に努める。
- ⑤ まちづくり推進計画を基にした自助・共助・公助による計画実現を目指して、関係行政機関と連携した活動の充実を図る。
- ⑥ まちづくりの情報を共有し、諸活動への参加意識を高めるまちづくりを推進する。

## 5 組織体系図



## 6 活動体系図



## 7 校区まちづくり推進計画

### 1 まちづくり部会（第2期：R4～R8）

番号	活動方針	活動内容	事業名	実施部会	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規・継続	
							4	5	6	7		8
1		ふれあい交流活動	あいさつ運動	まちづくり部会 青少年育成部会	日常生活の礼儀であり基本である日常のあいさつに関する標語募集による「あいさつ運動」を推進する。	「あいさつ運動」を通して、心と心のふれあう明るく住みやすいまちづくりを推進することができる。	○	○	○	○	○	継続
2		環境美化活動	清掃美化活動	まちづくり部会	清潔なまちづくりの一環として、住民総参加の清掃を町内会等と連携して、年4回（春夏秋冬）実施する。	清掃活動を通して、地域の美化の保全及び参加者同士のふれあいの機会が生まれる。	○	○	○	○	○	継続
3	住みやすい環境づくりと共生・共同による活気あるまちづくり	地域活性化活動	町内会等の連携活動	まちづくり部会	校区活性化の一環として、各町内会等が開催する行事に、他地域住民も参加できる相互連携活動を推進する。	他の町内会等が開催する行事に参加することで参加者相互の親睦と連携を高めることができる。	○	○	○	○	○	継続
4			史跡めぐりの開催	まちづくり部会 社会教育部	校区の「史跡マップ」を利用した校区内の豊かな自然と貴重な史跡めぐりを実施する。	史跡めぐり活動を通して、校区内の豊かな自然と貴重な史跡等の再発見を促すことができる。	○	○	○	○	○	新規
5		広報活動	広報紙の発行	まちづくり部会	協議会の活動状況(行事の開催及び結果等)を周知する「広報紙」を随時発行する。	校区まちづくり協議会の各種事業を校区住民に広報することで、協議会の存在価値を高めることができる。	○	○	○	○	○	継続

2 安心安全部会（第2期：R4～R8）

番号	活動方針	活動内容	事業名	実施部会	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規・継続	
							4	5	6	7		8
6		防犯活動	防犯パトロール	安心安全部会	「校区防犯パトロール隊」による巡回パトロール及び防犯に関する広報活動を行う。	校区内の巡回パトロールや広報活動を行うことで、安心安全な地域づくりを推進することができる。	○	○	○	○	○	継続
			関係団体との情報交換会	安心安全部会	地域の安心安全確保のために活動している団体等で構成する「ネットワーク会議」を開催し校区の安心安全に関する情報交換を行う。	「ネットワーク会議」を開催することで、校区内の安心安全なまちづくりにつなげることができる。	○	○	○	○	○	継続
8	地域住民が安心して暮らせるまちづくり	交通安全運動	登下校の見守り	安心安全部会 青少年育成部会	児童生徒の通学路で、住民有志活動による登下校時の見守り活動を行う。	登下校時の見守り活動を行うことで、児童生徒の交通事故防止等に努めることができる。	○	○	○	○	○	継続
9		防火防災活動	危険箇所点検・整備	安心安全部会	児童生徒の通学路及び遊び場等の危険箇所点検・整備等を行う。	危険箇所点検・整備を行うことで、事故や被害の未然防止に努めることができる。	○	○	○	○	○	継続
			防火防災体験講座	安心安全部会	防火防災に関する基礎知識を学ぶ、防火防災体験講座を実施する。	防火防災体験講座を実施することで、いつ発生するか分からない災害の未然防止に備えることができる。	○	○	○	○	○	継続

3 福祉部会（第2期：R4～R8）

番号	活動方針	活動内容	事業名	実施部会	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規・継続	
							4	5	6	7		8
11		高齢者福祉活動	高齢者の健康教室	福祉部会	地域高齢者の健康に関する座学（市の出前講座等）を開催する。	高齢者の健康に関する学びを通して、安心な生活を営むことができる。	○	○	○	○	○	新規
12			高齢者の屋内外運動	福祉部会	地域高齢者の屋内外運動(ボッチャ・ウォーキング等)を開催する。	「屋内外運動」を体験することで、高齢者の健康維持向上を図ることができる。	○	○	○	○	○	新規
13	思いやりで共に支え合う心豊かなまちづくり	福祉の研修	福祉学習会の開催	福祉部会	福祉部会の中には、毎年替わる町人会等もあることから、福祉活動の一助となる学習会を開催する。	福祉に関する学習会を開催することで、福祉部会員の福祉に関する理解を深めることができる。	○	○	○	○	○	新規
14		福祉施設との情報交換会	福祉施設訪問	福祉部会	松元地域の福祉施設を訪問し施設入所者や施設職員と情報交換を行う。	福祉施設見学や福祉関係者との情報交換をすることで、自地域で生活する高齢者対応を図ることが出来る。	○	○	○	○	○	新規
15			福祉先進地研修	福祉部会	県内の福祉事業を先進的に取り組んでいる「まち協」や福祉施設の訪問研修を行う。	福祉事業を先進的に取り組んでいる「まち協」や施設の見学を通して、自校区の福祉活動の充実を図ることができる。	○	○	○	○	○	新規

4 青少年育成部会（第2期：R4～R8）

番号	活動方針	活動内容	事業名	実施部会	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規・継続	
							4	5	6	7		8
16			青少年健全育成大会の開催	青少年育成部会 社会教育部会	児童生徒の健全育成の在り方や課題、取組みの重要性を学ぶための大会を開催する。	青少年健全育成大会を開催することで心豊かにたくましい「春山っ子」の育成を推進することができる。	○	○	○	○	○	継続
17			「あいご会」の育成	青少年育成部会	住民総ぐるみの子ども育成の柱である「あいご会」の諸活動の充実に向けた支援を行う。	「あいご会」の諸活動への支援を行うことで、青少年の健全育成を図ることができる。	○	○	○	○	○	継続
18	次世代を担う青少年の「生きる力」を育むまちづくり	健全育成活動	登下校の見守り	青少年育成部会 安心安全部会	地域住民有志の「子ども見守り隊」等による登下校時の「あいさつ運動」を兼ねた立哨見守り活動を行う。	登下校時の見守り活動を行うことで、児童生徒の交通事故防止や被害防止を図ることができる。	○	○	○	○	○	継続
19			「リリーマラソン大会」の開催	青少年育成部会 体育部会	小学6年生が母校への思い出づくりのために、全員で挑戦する「リリーマラソン大会」を実施する。	「リリーマラソン」に参加することで、次世代のふるさとを担う子どもたちの心身の健全育成に寄与することができる。	○	○	○	○	○	継続
20		体験活動	地域行事参加促進	青少年育成部会 まちづくり部会	地域住民の一員として町内会等、地域行事への参加促進を行う。	地域行事へ積極的に参加することで、次世代のふるさとづくりを推進することができる。	○	○	○	○	○	継続

5 体育部会（第2期：R4～R8）

番号	活動方針	活動内容	事業名	実施部会	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規・継続	
							4	5	6	7		8
21			「校区運動会」の開催	体育部会	校区住民誰もが参加できるふれあい交流を目的とする「校区運動会」を実施する。	「校区運動会」に参加することで、世代間の親睦交流と住民総参加のまちづくりを推進することができる。	○	○	○	○	○	継続
22		世代間交流活動	各種スポーツ大会の開催	体育部会	世代間の親睦交流を目的に、ニュースポーツを含めた「各種スポーツ大会」を実施する。	「各種スポーツ大会」に参加することで、相互の連帯感を高めるとともに健康づくりを推進することができる。	○	○	○	○	○	継続
23	各種のスポーツ活動による「ふれあいと元気溢れる」まちづくり		ふれあい交流「スポーツ大会」の開催	体育部会 青少年育成部会	高齢者と小中学生とのふれあい交流の「スポーツ大会」を開催する。	ふれあい交流「スポーツ大会」に参加することで、高齢者・青少年の友好（絆）を深めたまちづくりを推進することができる。	○	○	○	○	○	継続
24		健康づくり活動	健康体操教室の開催	体育部会	一般住民を対象とした、「健康体操教室」を定期的で開催する。	校区住民が「健康体操教室」に参加することで健康づくりに取り組み意識の高揚を図ることができる。	○	○	○	○	○	継続
25			趣味クラブ等の結成支援	体育部会	趣味スポーツを生かした健康づくり同好会・クラブの結成・支援を行う。	健康づくり同好会やクラブ結成への支援を行うことで、住民の健康づくりを推進することができる。	○	○	○	○	○	継続

6 社会教育部会（第2期：R4～R8）

番号	活動方針	活動内容	事業名	実施部会	事業内容	事業効果	事業スケジュール				新規・継続	
							4	5	6	7		8
26		社会学級推進活動	「生活文化講座」の開催	社会教育部会 まちづくり部会	地域住民の生活や文化の向上及びまちづくりや現代的課題についての学習講座を開催する。	「生活文化講座」に参加することで、社会生活に必要な教養の向上を図ることができる。	○	○	○	○	○	新規
27			家庭教育学級への支援	社会教育部会	家庭教育の重要性を認識し家庭環境や家庭教育を学ぶ小学校の「家庭教育学級」への物的な援助を行う。	「家庭教育学級」への物的な援助を行うことで家庭教育の向上を支援することができる。	○	○	○	○	○	継続
28	地域住民が学ぶ楽しみを実感するまちづくり		「校区文化祭」の開催	社会教育部会	校区住民が生涯学習の一環として学習している歌や踊り、工芸品等の作品を発表し合う「校区文化祭」を開催する。	「校区文化祭」を開催することで、校区の生涯学習の振興発展を図ることができる。	○	○	○	○	○	継続
29		生涯学習推進活動	生涯学習グループの結成支援	社会教育部会	生きがいづくりの一環として趣味を生かした生涯学習グループ結成への支援を行う。	生涯学習グループ結成への支援を行うことで、生涯学習の振興を図ることができる。	○	○	○	○	○	継続
30		学校教育支援活動	学校教育ボランティア支援	社会教育部会	地域住民のもっている知識や技能・経験を生かした学校支援ボランティアの人材を増やし、学校教育への支援活動を行う。	学校支援ボランティア活動に協力することで、学校・地域の連携を深め支援活動を充実させることができる。	○	○	○	○	○	継続

## <参 考 資 料>

- 住民アンケート調査結果(抜粋)
- 第1期 校区まちづくり推進計画事業の概要(主な部会活動の写真)
- 第2期 校区まちづくり推進計画策定委員会委員名簿



## ○ 住民アンケート調査結果(抜粋)

### (1) 調査世帯及び回収世帯数

調査世帯数：1,537戸      回収世帯数：806戸      回収率：52.4%

### (2) 回答者

① 性別    男性：334名(42.8%)    女性：446名(57.2%)    <無回答26名>

② 年齢    <無回答5名>

18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65～74歳	75歳以上
5名 (0.6%)	101名 (12.6%)	141名 (17.6%)	240名 (30.0%)	161名 (20.1%)	153名 (19.1%)

③ 職業    <無回答41名>

農業	自営業	勤労者	無職
32名	42名	414名	277名

### (3) 住まいについて

① 春山を居住地とされた理由    <無回答2名>

生まれも育ちも春山校区内のため	136名	16.9%
配偶者が春山校区であったため	108名	13.4%
新たな居住地として選んだ	494名	61.4%
その他	66名	8.2%

② 現在地の居住年数    <無回答40名>

5年以下	6～15年	16～30年	31年以上
122名(15.7%)	177名(23.1%)	257名(33.6%)	210名(27.4%)

### (4) 生活環境について

① 春山は住みよい地域だと思いますか。

思う	思わない	回答なし
663名(82.3%)	126名(15.6%)	17名(2.1%)

② ①で「思う」と答えられた方の要因(複数回答)

自然環境が良い	56%	閑静な周辺環境が良い	40%
交通の便が良い	27%	伝統行事など活気がある	4%
住民の人柄(近所づきあい)が良い			28%

③ ①で「思わない」と答えられた方の要因(複数回答)

地域に活気がない	3%	買い物不便である	10%
交通の便が悪い	14%	子どもの遊び場がない	2%
近所づきあいが薄れている			3%
身近に医療機関・施設がない			8%

(5) 望みたいまちづくり(複数回答)

安心安全なまち	73%	買い物など便利なまち	53%
安心して子育てができるまち	37%	近所づきあいの温かいまち	40%
緑を豊かに守り育てるまち	21%	活気あられるまち	17%
高齢者・障がい者が暮らしやすいまち			52%

○ 第1期 校区まちづくり推進計画事業の概要(主な部会活動写真)

【まちづくり部会】「校区史跡マップ・あいさつ運動」



【安心安全部会】「登下校の見守り」



【福祉部会】「高齢者の健康講座・グラウンドゴルフ大会」



【青少年育成部会】「リレーマラソン大会」



【体育部会】「校区運動会」



【社会教育部会】「校区文化祭」



○ 第2期「校区まちづくり推進計画」策定委員会委員名簿

委員名	氏名	まちづくり協議会・役職等
委員長	児島 照文	前会長・体育部会長
副委員長	田 實 博 美	会長・福祉部会長
委員	上四元 正 昭	副会長・まちづくり部会長
委員	本 村 信 治	安心安全部会長
委員	田 中 憲 一	青少年育成部会長
委員	別 府 信 行	社会教育部会長
委員	松 下 正 信	監事・春山小学校長
委員	水 間 敏 見	監事
委員	太 田 義 則	前福祉部会長
委員	石 神 博 美	前社会教育部会長
委員	内 郁 夫	前監事
委員	藺牟田 いずみ	事務局職員
委員	内 瑠実子	事務局職員

## 「春山校区まちづくり推進計画」

令和4年3月

発行：春山校区まちづくり協議会

〒899-2704 鹿児島市春山町 1020-2

TEL&FAX 099-278-5866

E-mail haru.machi.kyou@gmail.com

編集：第2期プラン策定委員会

写真：春山校区まちづくり協議会

印刷：アジア印刷株式会社